

おの議会だより

No.217

令和4年1月25日



地球温暖化問題を楽しく学ぶEco紙芝居【東部児童館】
(12月21日開催)

主な内容

12月定例会の概要	2ページ
一般質問の概要	3～8ページ
決算審査報告	9ページ
常任委員会審査報告	9・10ページ
議案等の審議結果	11ページ
特別委員会報告	12ページ

大野市議会では、議会日程や議案等の審議経過及び結果、会議録などの議会情報をホームページでも掲載しています。ぜひご覧ください。



発行：大野市議会

〒912-8666 福井県大野市天神町1-1
Tel 0779-64-4830 Fax 0779-65-3021
<http://www.city.ono.fukui.jp/>

編集：議会だより編集委員会

補正予算
の議案

議案第91号・109号
令和3年度大野市一般会計補正予算
(第6号・第7号)

可決

12月
定例会の概要

補正前の予算額 → 補正額(増額) → 補正後の予算額
176億6647万円 8億1063万円 184億7710万円

第426回定例市議会は、11月29日から12月16日までの18日間の会期で開催されました。
今回の定例会では、令和3年度の一般会計や特別会計の補正予算案、条例制定案、大野市過疎地域持続的発展計画案、人事案件など22議案のほか、9月定例会から継続審査となっていた令和2年度決算認定議案4件、そして請願1件について審議しました。審議結果は11ページのとおりです。

補正のあった主な内容	補正額	補正後の額
【庁内ネットワーク運用経費】 公立保育園において庁内ネットワーク接続のためのWi-Fi環境や端末を整備する経費	1569万円	1億4311万円
【地域密着型サービス拠点等施設整備費補助】 認知症グループホームの防災改修整備に対する補助	773万円	773万円
【新型コロナウイルスワクチン接種事業】 新型コロナウイルスワクチンの2回目の接種を終了した人のうち、おおむね8カ月以上経過した人に対し、追加接種を実施する経費	6262万円	2億7135万円
【ゼロカーボン推進事業】 ゼロカーボンシティに対する市民理解を深めるため、講演会等を実施する経費	70万円	577万円
【小さな農業チャレンジ応援事業】 農家が行う販売を目的とした新たなチャレンジのための機械の整備に対する補助	194万円	288万円
【大野市版中小企業者等事業継続支援金事業】 福井県緊急事態宣言の発出等により、売り上げが大きく減少した市内事業者に事業継続支援金等を給付する経費	7323万円	7323万円
【除雪経費】 冬季除雪に必要な経費の増額	1億5100万円	3億694万円
【子育て世帯への臨時特別給付金給付事業】 子育て世帯を支援するため、0歳から18歳までの子どもがいる世帯に臨時給付金を支給する経費	4億3266万円	4億3266万円

条例の制定等

大野市過疎対策のための固定資産税の課税免除に関する条例

過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の施行に伴い、固定資産税の課税免除について定めました。

大野市債権管理条例

市が保有する債権の管理適正化と回収の効率化に向けて、債権管理に必要な手続きを定めました。

大野市簡易水道等給水条例の一部を改正する条例

木本地区簡易水道の使用料金を増額しました。

その他の議案

大野市過疎地域持続的発展計画について

過疎地域に指定される本市の総合的かつ計画的な対策を実施するための計画を定めました。

指定管理者の指定について

大野市児童デイサービスセンター、大野市道の駅九頭竜、大野市まちな

か観光拠点施設及び越前おおの結ステーションの指定管理者を指定しました。

人事案件

教育委員会委員の任命について

松田輝治氏(上野)を任命することに同意しました。

公平委員会委員の選任について

石田光義氏(太田)を選任することに同意しました。

固定資産評価審査委員会委員の選任について

山下輝雄氏(明倫町)を選任することに同意しました。

請願

政府の新型コロナウイルス禍での米価格暴落対策が皆無の中、自治体独自の稲作農家への直接支援策を求める意見書提出について

福井県農民連会長 玉村正夫さんからの請願は、継続審査となりました。

令和4年度予算編成に当たり部局長へ強く指示した点は



選択と集中を進め、新たな発想と創意工夫で取り組む

問 令和4年度予算を編成するに当たり、部局長へ強く求めた点は。

答 第六次大野市総合計画の基本目標分野に対応した組織体制で初となる予算編成に当たり、事業の効果を高めるための選択と集中を進め、市民サービスの上や行政課題の解決に向けて新たな発想と創意工夫で取り組むよう指示した。

問 2026年、市長2期目の終わりにおける大野市のあるべき姿は。

答 人口減少問題が直面している課題であり、市民が不安に思っている点だと実感している。人口が減少した中にあっても支え合って助け合ってコミュニティをつくっていく、つくり変えていくことが必要だと思っている。

問 人口減少を食い止める目標を掲げた計画が大野市過疎地域持続的発展計画であり、計画満了期間が2026年。どう数値目標の人口を超えていくのか、議論して示していただかないといけない。

答 人口減少、地域活性化、自立ができるよう進んできて、国の支援策を使いながら方向性を合わせていく点は変わらない。市民にも伝わるようお願いしたい。

問 部活動の地域移行に向けた課題は。

答 受け皿となる組織や団体、指導者、実施場所の確保、活動や送迎などに係る経費負担、活動の継続性などが主な課題である。新年度において、まずは運動部活動の休日における地域移行に向け、調査や研究を進めていきたい。モデル校に乗れるよう県にもお願いしている段階である。

新風会・公明
はやし
よりかず
順和
議員



タブレット端末はどのように活用しているのか



学校間での交流授業で、漢字クイズをオンライン上で他校の児童と交換し、お互いに答え合う事例もある

問 児童・生徒1人1台のタブレット端末はどのように活用されているのか。

答 小学校低学年では、文章の大切な部分に線を引いたり、図形の仲間分けや並び替えをして知識を深めている。中学年では、割り算や図形の面積の求め方についてまとめ、モニターに映しながら発表したり、画面を見せ合いながら教え合ったりしている。高学年や中学生では、環境問題や地域学習などの課題について、調べた内容を図や文字を入力してまとめ、モニターに映しながらプレゼンテーションを行ったり、感想や意見を記入し合ったりすることも行っている。学校間での交流授業も行われており、漢字クイズを作り、オンライン上で他校の児童と交換し、

お互いに答え合う事例もある。

問 移住定住の相談及び移住に至った状況は。

答 11月末現在、相談件数は86件。移住者数は、12世帯19人である。昨年同時期の10世帯14人と比較してわずかに上回っている。

問 大野に来て見て住んで応援パッケージはどのように効果を発揮しているのか。

答 パッケージは移住前に知っていただきたい生活情報や、移住前と移住後に利用していただけるサポート体制や支援策をまとめた。また、生活様式に合わせて、「女性応援」「田舎暮らし」「デジタル」の3分野の個別版を作成し、観光パンフレットを添えて相談者に郵送するなどして活用している。

新風会・公明
しらすき
たかゆき
白崎
貴之
議員



一般質問

令和4年の市長選挙についての考えは



清風会

ながた まさゆき
永田 正幸 議員



市政運営を担わせていただき、全力を注ぎたい

問 平成30年7月に北陸3県で初めての女性市長に就任し、「みんなが大野を好きになる、未来へつなぐまちづくり」として、本市を次代を担う人々に引き継ぎたいという強い決意で政策を展開され、新型コロナウイルス感染症対策等の予期せぬ事態や異常気象によるさまざまな被害への対応など、緊急事態に対処されてきた。

答 令和8年春には中部縦貫自動車道が県内全線開通の運びとなり、第六次大野市総合計画が動き出したところであるが、引き続き取り組むべき課題が山積していると考えます。そのような中で、令和4年の市長選挙については、どのように考えているのか。

答 市長就任から3年5カ月が経過し、社会情勢の変化や時代の要請に柔軟に対応し、きめ細やかさとしなやかさ、そして強さを併せ持つリーダーシップを発揮すべく行政運営に携わってきました。モットーは「自然と人が共にずっと生きていく持続可能な地域づくり」で、公約で示した「未来へつなぐまちづくり五つの方法」をより現場に合うよう考え、市長就任直後からいち早く自治体SDGsの推進に取り組むなど努力してきました。また、内閣官房の国・地方脱炭素実現会議、デジタル田園都市国家構想実現会議、総務省の過疎問題懇談会などに加わり、中央とのつながりも築いてきました。市民の皆さまのご支持をいただけるなら、引き続き市政運営を担い「人がつながり 地域がつながる 住み続けたい結のまち」実現のため全力を注ぎたい。

一般質問

言語習得能力の高い未就学児に対し、英語教育を実施してはどうか



無党派

だにいえるよしもと
ダニエル益資 議員



英語教育に特化した取り組みについて、令和4年度の予算案への反映は考えていない

問 本市の公共施設再編計画の中間報告が議会に提出された。これは市民にとって、非常に関心の高い案件だと考えている。費用対効果や利便性を考えると、市内のさまざまな資料館や博物館などは、統廃合を進めていくべきではないか。

答 また、開設されて間もないCOCONOアートのプレイスや水のがっこうも利用者が少ないようだが、今後どのような方針で運営する予定か。

答 費用対効果を鑑み、和泉郷土資料館を笹資料館と同様に冬期閉館とした。ただ、資料館や博物館は、本市における民俗や歴史に関する資料を保存し紹介する学びの場でもあり、貴重な建築物も存在する。故に公共施設の再編を進めるに当たり、費用対効果や利便性のほか、施設本来の目的や特有の性質についても精査し、施設の方向性を決定することが重要だと考える。

問 グローバル化が進む中、英語教育の重要性は年々高まっていると思われる。このような環境の中、言語習得能力の高い未就学児に対する英語教育を本市で実施していくべきだと考えるが、令和4年度の予算案に反映させてはどうか。教育委員会の考えを伺う。

答 保育所保育指針や認定こども園教育・保育要領に基づいた教育・保育を継続することで、子どもの健全な心身の発達を図っていく。そのため令和4年度の予算案に英語教育に特化した取り組みの反映は考えていない。今後も、子どもたちが遊びを通して英語に親しみ、楽しさを感じられるよう取り組む。

地下水のシミュレーションをして いただきたい



地下水の流れや、河川環境への影響に関する データ収集を研究者にも協力をいただき行う

無会派

梅林 厚子
うめばやし あつこ
議員



問 雨が少なかったことや、工事による断水により大量の魚を死なせてしまったことは、貴重な経験。木瓜川、清滝川の流水と地下水位の関係をデータで残して、地下水のシミュレーションを行ってみたい。

答 地下水の流れや、どのように河川環境に影響しているかは、従前から市民も行政も知りたい情報。今回のケースは極めて貴重なデータが取れると思っている。研究者にも協力をいただきやっていく。

問 泉町の公共下水道工事では、仮設上水道を利用することだが、井戸水と上水道のどちらを利用してもいいというところか。

答 上水道への切り替えを提案するが、現状に依りて、個別に相談する。

問 泉町の下水道工事では



御清水

は仮設上水道を利用し、その料金は市が負担することになるが、公平性の観点からどう思うか。

答 工事のために必要な機能補償と考える。

問 公共下水道受益者負担金の戸数均等割とは。

答 戸数均等割は、各家庭に付ける公共ますの分であるため、各家庭に等しくかかる部分である。

問 消雪パイプを敷設している所や道幅が狭い所は、公共下水道にしないとのことだが、汚水処理はどうするのか。

答 合併処理浄化槽を入れていただくエリアと考えている。

河川中央に橋脚がある橋りょうの 豪雨時の対応は

河川管理者と情報共有し、早期の対応に当たる



清風会

堀田 昭一
ほりた しょういち
議員



問 河川中央に橋脚がある橋りょうは、豪雨の際に、流木やごみ等が橋脚に引っ掛かり、川をせき止め、堤防の越流や決壊により大規模災害を引き起こす恐れがある。そのような橋りょうはどれくらいあるのか。

答 河川中央に橋脚がある①2径間の橋りょうは19橋。このうち2橋は、基準径間長を満たしていないため、今後の定期点検の結果を基に架け替えの時期を判断していく。

問 早期の架け替えが困難というのであれば、県が行っている堤防天端の舗装工事などの予防工事を働き掛けてはどうか。

答 お願いしていく。

問 河川中央に橋脚がある橋りょうの豪雨時の対応は。

答 河川の増水や障害物についてパトロールにより監視するとともに、河川管理者とも情報共有し、早期に交通規制を行うなどの対応に当たる。

問 平成29年3月策定の公共施設等総合管理計画で掲げている施設総量縮減や更新経費削減の数値目標などの改訂は。

答 公共施設等総合管理計画については、今後適切な時期に改訂する。

問 令和2年度の公共施設再編の対策費は。

答 令和2年度の公共施設の維持や改修、更新に係る対策費用は、一般会計決算統計ベースで約6億4000万円となっている。

問 公共施設等総合管理計画に対する評価は。

答 施設総量縮減の数値目標5430平方メートルに対し、約6000平方メートルを削減している。

①2径間の橋りょう：2つの橋台の間に1本の橋脚がある橋

一般質問

市民からの相談対応などは、市職員に どう教育しているのか



未来おおの
木戸屋八代実 議員



一般質問

接遇研修を開催して学習している

- 問** 本市は平成29年度から県内で唯一、市全体が過疎地域に指定されている。今議会上程されている大野市過疎地域持続的発展計画案では、前回の計画と比べて何を改善し、何に重点を置いて作成しているのか。
- 答** 第六次大野市総合計画の6分野の基本目標に向かって取り組む。特に、地域経済分野では事業者の稼ぐ力と企業価値の向上、くらし環境分野ではゼロカーボンシテイに向けた取り組み、地域づくり分野では移住定住施策の取り組み、行政経営分野ではSDGsの推進、デジタル化の推進などに重点を置いている。
- 問** 大野市街地などでも、デジタル化の施策を考えているのか。
- 答** デジタル化に向けて、最近、国でも議論が活発になっている。必要に応じて、この計画は修正を加える。その際には、議会に説明をさせていただき、修正案を提案する。
- 問** 市民が居住地区の中の公共の問題を相談したいときは、どのような手順で市に相談すればいいのか。
- 答** 市に関係する市民生活の困り事は千差万別である。地区の合意形成などが必要なものは、区長を通じて相談していただくが、住民から直接相談があった場合には、理由などを丁寧に説明し、ご理解いただくように努めている。
- 問** 市職員の窓口対応や電話対応が良くないという声を時々聞くが、教育はどうしているのか。
- 答** 接遇研修を開催し学習しており、今後も継続する。接遇マニュアルの作成も検討する。

議案第98号大野市債権管理条例は 必要なのか

本市が保有する債権の管理適正化と回収の効率化のため手続きを定める



日本共産党大野市議員団
榮正夫 議員



- 問** これまで本市は、市税の滞納整理のため、県の地方税滞納整理機構に移管して回収を図っている。また、その他の債権はそれぞれの担当課がそれぞれの債権の特徴に基づき対処してきているのではないのか。
- 答** 債権管理条例は、本市が保有する債権の管理適正化と回収の効率化に向けて、債権管理に必要な手続きを定めるものである。債務者間の公平性を図りつつ、債権を適正に管理していく。
- 問** コメの生産者価格の暴落により、生産者は「コメを作って飯食えない」状態になっている。全国の自治体の中には、政治的な傍観でなく、独自の支援策を講じている自治体も出現している。本市においても独自の支援策を求めるが、どう
- 答** JA福井県が決定した2021年産米の概算金は、コシヒカリの一等米で一俵当たり前年比2700円安の1万500円、ハナエチゼンとあきさかりは、前年比3200円安の9000円、いちほまれは、3300円安の1万2000円となった。
- 問** 県農業会議の試算による一俵当たりの経費は1万2170円で、コシヒカリの概算金だけでは明らかに農家所得はマイナスになる。
- 答** 他県では、今回の米価の下落に対して、補填金の支払いや種苗代の支援などを独自で実施する自治体を見受けるが、米価は需要と供給の関係で決まるので、下落分を補填する支援をしても根本的な解決にならないと考えている。

大野市にとって取り組むべき喫緊の課題は



人口減少対策だと考える

双葉会

高岡

和行

議員



- 問** 市長の政治姿勢について伺う。大野市にとって取り組むべき喫緊の課題は。
- 答** 人口減少対策だと考える。
- 問** ゼロカーボンシティの現状認識と対策は。
- 答** 脱炭素ビジョン策定協議会を立ち上げ、地域課題の整理を行い、本市の将来の絵姿を作成する。
- 問** 人口減少に対する現状認識は。
- 答** 本市の人口は3万1286人。平成27年から令和2年までの5年間の減少率は5・51割で県内9市の中でも2番目に高くなっている。
- 問** 市長就任以降、令和元年に転出が957人、令和2年が823人、本年は10月末で801人の転出。当然転入もあるが、問題は5億円もかけた子育て応援パッケージ事業。10月末で出生数が124
- 問** 人なのは事業に問題があるのでは。
- 答** それぞれの事業をもう一度見直し、磨き上げていきたい。
- 問** 学校再編における現在までの進捗を尋ねる。
- 答** 8月末までに再編計画案説明会を開催し、延べ462人の参加があった。本年度の小学校児童数1376人、中学校生徒数782人だが、令和12年度にはそれぞれ1052人、633人と減少が続く。今後検討委員会を経て計画改訂を着実に進めたい。
- 問** 中学校2校になると校区はどうなるか。
- 答** 開成・上庄中学校の校区と陽明・尚徳・和泉中学校の校区になる。
- 問** 通学路の安全は確保されているのか。
- 答** これから決定し行っていく。

デジタル格差が生じている中、高齢者に配慮した今後の対応は



誰もがメリットを受けられるよう、公民館講座の充実など、理解を深める取り組みを進める

新風会・公明

伊東由起恵

議員



- 問** 子宮頸がんワクチン接種について、国においては令和4年4月から積極的勧奨を再開することとした。そこで、子宮頸がんの予防に向けた啓発活動や情報提供は。
- 答** 子宮頸がんの予防にはワクチン接種のほか、子宮頸がん検診も有効なので、市ホームページなどで周知していきたい。
- 問** 積極的勧奨が中止された間に機会を逃してしまつた女性への支援については。
- 答** 現在、国において対象者や期間等についての議論が開始されたので、国の動向を注視しながら希望者が機会を逃さず接種できるように周知していきたい。
- 問** 在宅介護について、多重介護や老老介護など、本市の現状は。
- 答** チェックリストによる調査で現在把握しているのは、一部の介護者の状況ではあるが、「介護者が75歳以上の高齢者」、又は「介護の他にも育児等を行っている」という項目に255件、「家庭内に複数の要介護者がいる」「二人の介護者が複数人を介護している」という項目に30件が該当する結果だった。
- 問** デジタル化によりマイナンバーカードの取得促進や行政手続きの利便性が高まる中、高齢者に配慮した対応が十分に進んでいないと感じるが、今後の対応は。
- 答** デジタル機器の活用には不安のある方に寄り添い、市民の誰もがデジタル化のメリットを受けられるよう、公民館講座の充実やオンライン手続きの分かりやすい説明など、デジタル化への理解を深める取り組みを進めていく。

一般質問

脱炭素社会実現に向けて取り組む市民に、市独自の助成を求める



日本共産党大野市議員
野村 勝人 議員



脱炭素ビジョンを策定した上で、新たな助成も検討する

問 脱炭素社会実現に向けて取り組む市民に、市独自の助成を行えないか。
長野県内では一口10万円を出資金を募り、民家や施設の屋根にソーラーパネルを設置して、売電収入を還元する仕組みを取り入れている。



この脱炭素ビジョンを策定した上で、新たな助成も検討する。

答 大野市脱炭素ビジョン策定に向けて、令和4年度は、地域課題の解決に向けた再生可能エネルギーの導入目標を設定し、目標達成の方策、市民や事業者を含めた役割分担、推進体制などを検討整理する。

問 市では移住定住対策としてリフォームに助成している。脱炭素対策として二重窓や壁の断熱などのリフォームをした場合にも助成してはどうか。

答 脱炭素ビジョンの策定により、再生可能エネルギーの導入目標や手法などが整理される。その上で、具体的な支援策を国県の制度も照らし合わせながら考えていく。

現制度の中で省エネ推進に取り込めるものがある場合は、支援内容の見直しを考えていきたい。



一般質問

歩道については、子どもたちが登校する時間までに除雪できないのか



新風会・公明
廣瀬 浩司 議員



できるだけ、通学の時間に間に合うように努力している

問 歩道については、子どもたちが登校する時間までに除雪できないのか。

答 まず車道除雪を先に言い、その後、歩道除雪に入る。市としても、通学時間に間に合うようにとの指示は出している。しかし、降雪状況や場所によって遅れるところもある。できるだけ、通学の時間に間に合うように努力している。

問 学校側と連絡を取り合って、この通学路は一番登校者が多いから、優先して除雪してほしいなど、学校側と通学路に対しての情報交換をしているのか。

答 昨シーズンの冬については、雪がかなり多かったので、学校周りは学校の方でやりますといったような連絡は取り合っていた。ただ、通常時については、そこまでの連絡を取り合っていない。ご意見を参考にさせていただきます。

問 大野市では、オペレーター不足が、今後の課題になってくると思う。県では、免許の取得費の半分を助成するようだ。本市では、助成について何か考えていないのか。

答 県の制度は、県が管理する国道を除雪している業者について、大型自動車、大型特殊自動車免許取得や除雪作業に係る勉強に対する費用を助成する制度である。

本市の除雪業者に、同様の制度ができたら利用しますかというアンケートを取ったら、15人程度が利用したいという希望があった。これを受けて、県の補助制度を参考に、今、制度設計を検討している。

令和2年度 歳入歳出決算を認定

決算特別委員会報告の主な内容

(堀田委員長、林副委員長、廣瀬、木戸屋、松本、野村、川端、畑中)

歳入について

本市の財政状況は、経常収支比率が97・9割と依然として硬直した状態にある。市税をはじめとする各種債権の徴収率向上と、ふるさと納税やガバメント・クラウド・フ

アンディングの活用による自主財源の確保に努められたい。

2025年問題への対応 団塊の世代が後期高齢者となる2025年問題

令和2年度 大野市各会計決算総括表

●一般会計

区分	歳入決算額	歳出決算額	差引残額
一般会計	248億2406万円	239億2022万円	9億0383万円

●特別会計

区分	歳入決算額	歳出決算額	差引残額
国民健康保険事業	33億3227万円	32億7642万円	5585万円
和泉診療所事業	9131万円	9131万円	0万円
後期高齢者医療	4億7133万円	4億7012万円	121万円
介護保険事業 (保険事業勘定)	40億3320万円	39億7262万円	6058万円
介護保険事業 (介護サービス事業勘定)	1289万円	1147万円	142万円
農業集落排水事業	3億1491万円	3億943万円	548万円

●企業会計 ※収益的、資本的並びに特例的収入及び支出の合計額

区分	歳入決算額	歳出決算額	差引残額
水道事業	2億1136万円	2億4627万円	▲3491万円
簡易水道事業	1億9413万円	1億8724万円	689万円
下水道事業	16億9112万円	18億8735万円	▲1億9623万円

*金額は四捨五入で記載しているため、差引残額は1万円の差が生じる場合があります。

の対応として、介護給付費を極力抑えるための市民の健康づくりやフレイル対策は評価する。地域包括ケアシステムの構築に向け、診療所機能の拡充などによる在宅医療の充実についても検討されたい。

多面的機能支払交付金制度について
地域の共同活動により農地や農業用水等の保全を支援する国の多面的機能支払交付金制度について、人口減少や高齢化の進展が著しい集落でも取り組めるよう、複数集落による広域での取り組みを積極的に働き掛けられたい。

越前おおのブランドの推進について
今後のブランド推進は、市民の稼ぐ力に視点を置き、これまでの成果で精査されたものをさらに磨き上げ、市民の所得向上につなげられたい。また、越前おおのブランド大使の在り方についても再検討し、本市の魅力発信に活躍いただきたい。

子育て支援について

放課後や長期休暇中の子ども居場所づくり、医療的ケアの必要な子や障がいのある子などの預かり保育に対するニーズは非常に高いと考える。保護者の負担軽減と仕事との両立を図るため、より手厚い支援ができる体制づくりに努められたい。

常任委員会

審査報告

産経環境

(川端委員長、伊東副委員長、白崎、松本、松田、畑中)

除雪について

◎理事者の説明

新たに導入する除雪車デジタル運行管理システムでは、除雪車の現在地と除雪を終えた路線を防雪基地等のパソコン画面で確認ができるようになる。

◎委員の意見

令和3年1月のような



除雪車

大雪の際にも、システムの活用による業務の効率化により、除雪に遅れの出ることがないように努められたい。

ふるさと納税について

◎理事者の説明

本市のふるさと納税による寄付額は、当初の5000万円から昨年度並みの8000万円程度になることが見込まれるため、今回、歳入において、3000万円の増額補正をした。

◎委員の意見

行政改革推進プランの目標額7420万円を超える見込みではあるものの、昨年度の県内各市の寄付額を踏まえ、

現状に甘んじることなく目標金額をさらに高く設定し、ふるさと納税額の増加に努められたい。

JR越美北線について

◎理事者の説明

越美北線と長良川鉄道をつなぐバスツアーについては、令和4年度1回目の開催となる5月分について、本年度中からツアー企画の募集を行う必要があるため、債務負担行為補正をした。

◎委員の意見

このようなイベントは、越美北線の乗車体験の創出という点で有効であり、定期的な実施も視野に、今後も各団体と連携されたい。



越美北線

▼教育民生

(廣瀬委員長、野村副委員長、木戸屋、廣田、堀田、高田)

新型コロナウイルスワクチン接種事業について

◎理事者の説明

3回目のワクチン接種は、12月から市内13の医療機関において既に接種体制を整えており、医療従事者から順に接種券を発送する。

国からはファイザー社製とモデルナ社製ワクチンの配分があり、1回目、2回目とは異なるワクチンを使用する交互接種が認められている。

◎委員の意見

引き続き、新型コロナウイルスの感染対策はもとより、ワクチン接種に関する情報の周知に努められたい。

高齢者等雪下ろし支援事業について

◎理事者の説明

本年度、事業内容を見直して実施する。既に広



雪下ろし

報おのおの等でも周知している。

対象として見込まれる世帯に、11月に交付申請書を郵送し、申請のあった世帯に対し、12月中旬に決定通知書と1万5000円分の助成券、雪下ろし作業者名簿を発送する予定である。

◎委員の意見

高齢者等を対象とした事業のため、問い合わせには、分かりやすく丁寧に対応されたい。対象世帯が支援から漏れることのないよう、心配りされたい。

教育民生常任委員会所管の各種計画について

◎理事者の説明

大野市小中学校再編計画の改訂については再編計画検討委員会で計画案の最終確認を行い、総合教育委員会で協議し、定例教育委員会に議案を提出予定である。

また大野市小中学校施設管理計画では再編の受け入れ先となる学校を優先改修する予定である。具体的には、まず下庄小学校、開成中学校、陽明中学校の3校を、次に有終南小学校、富田小学校を順次改修する。

◎委員の意見

令和6年4月に中学校を再編するのであれば、改修工事に当たっては子



開成中学校

どもの学習環境を損なわず、保護者や子どもたちに不安を与えることのないよう丁寧に対応されたい。

◎理事者の説明

新たな大野市スポーツ推進計画では、スポーツをより幅広い概念で捉え、越前おのおの健康づくり計画第四次健康おのおの21と連携し、スポーツを通じた健康の増進を基本目標としている。

◎委員の意見

地区のスポーツ大会への子どもの参加促進のため^②eスポーツを積極的に取り入れられたい。

学校の部活動を地域に移行できるよう、教育委員会と連携を取り、指導者の育成に注力されたい。

▼総務生活

(高岡委員長、榮副委員長、林、ダニエル、梅林、永田)

公共施設の再編について

◎理事者の説明

公共施設等総合管理計

画(再編計画編)については、所管課の方針を踏まえ、施設ごとの方向性を決定した素案を作成し、2月にパブリックコメントを行った上で改訂する予定である。

◎委員の意見

再編方針の決定は、市民ニーズを十分に把握した上で、基準を明確にし、思い切った判断で行われたい。

また、地域づくりや防災などの視点を加え、市民の理解が得られるよう、一貫性ある方針とされたい。

地域ごとの課題解決に向けた話し合いについて

◎理事者の説明

大野地区と阪谷地区において、検討会設立に向けた準備や基礎データの収集・分析などが行われている。

◎委員の意見

住民が自らの地域の課題を掘り起こすこととはとても大事。

地域において、課題解決に向けて動き出そうと

する際には、市は住民と思いを共有するとともに、一体となって取り組みをサポートできる体制づくりを進められたい。

消防団員の確保について

◎理事者の説明

非常勤消防団員は、条例定数の485人に対し、実際には439人と定数を割り込んでいる。

◎委員の意見

地域防災力を強化し、住民の安全を確保するため、消防団の充実は非常に重要。

広報おのおのでの募集をはじめ、あらゆる手段を講じて団員確保に努められたい。



消防団の訓練

②eスポーツ：エレクトロニック・スポーツの略称でありコンピュータゲームをスポーツ競技として捉えたもの

令和3年12月第426回定例会 議案等の審議結果及び各議員表決

全会一致で認定・可決・同意された議案

議案番号	議案名	議案番号	議案名
市長提出議案	86 令和2年度大野市水道事業会計の決算認定について【継続審査】	市長提出議案	101 大野市中小企業振興条例の一部を改正する条例案
	87 令和2年度大野市簡易水道事業会計の決算認定について【継続審査】		102 大野市簡易水道等給水条例の一部を改正する条例案
	91 令和3年度大野市一般会計補正予算(第6号)案		104 市道路線の認定について
	92 令和3年度大野市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)案		105 指定管理者の指定について(大野市児童デイサービスセンター)
	93 令和3年度大野市和泉診療所事業特別会計補正予算(第1号)案		106 指定管理者の指定について(大野市まちなか観光拠点施設及び越前おおの結ステーション)
	94 令和3年度大野市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)案		107 指定管理者の指定について(大野市道の駅九頭竜)
	95 令和3年度大野市簡易水道事業会計補正予算(第1号)案		109 令和3年度大野市一般会計補正予算(第7号)案
	96 令和3年度大野市下水道事業会計補正予算(第1号)案		110 教育委員会委員の任命について
	97 大野市過疎対策のための固定資産税の課税免除に関する条例案		111 公平委員会委員の選任について
	99 大野市児童デイサービスセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例案		112 固定資産評価審査委員会委員の選任について
100 大野市国民健康保険条例の一部を改正する条例案			

各議員の表決が分かれた議案等

議案番号・議案名等		議員名(議席番号順)	議決結果	廣瀬浩司	木戸屋八代実	林順和	ダニエル益資	白崎貴之	伊東由起恵	松本嘉彦	廣田憲徳	堀田昭一	高田育昌	野村勝人	梅林厚子	永田正幸	松田元栄	川端義秀	高岡和行	畑中章男	榮正夫	
市長提出議案	85 令和2年度大野市歳入歳出決算認定について【継続審査】	認定	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	/	○	○	○	○	×
	88 令和2年度大野市下水道事業会計の決算認定について【継続審査】	認定	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	/	○	○	○	○	×
	98 大野市債権管理条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	/	○	○	○	○	×
	103 大野市過疎地域持続的発展計画について	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	/	○	○	○	○	×
108 大野市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	/	○	○	○	○	×	
請願	2 政府の新型コロナ禍での米価格暴落対策が皆無の中、自治体独自の稲作農家への直接支援策を求める意見書提出について	継続審査	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	/	○	×	×	×	×	

議長(松田元栄)は採決に加わらないので「/」で表示。議案に賛成○、反対×。
 請願を継続審査とすることに賛成○、反対×

令和4年3月市議会定例会のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
2/27	28	3/1	2	3	4	5
	本会議(開会)					
6	7	8	9	10	11	12
	本会議(代表質問)(一般質問)	本会議(一般質問)	本会議(一般質問)	常任委員会(産経環境)	常任委員会(産経環境)	
13	14	15	16	17	18	19
	常任委員会(教育民生)	常任委員会(教育民生)	常任委員会(総務生活)	常任委員会(総務生活)	特別委員会(人口減少対策)(未来へつなぐまちづくり)	
20	21 春分の日	22	23	24	25	26
				本会議(閉会)		

市議会の本会議は、誰でも傍聴することができます。傍聴を希望する方は、議会事務局(3階)で受け付けを済ませてから、傍聴席(R階)にお入りください。

日程は、予定のため変更になる場合があります。

本会議と常任委員会の開会時間は、午前10時を予定しています。人口減少対策特別委員会の開会時間は午前10時、未来へつなぐまちづくり特別委員会の開会時間は、午後1時を予定しています。ただし、開会前の会議により遅れる場合もあります。

詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。
 (☎0779-64-4830)

特別委員会 報告

▼人口減少対策特別委員会

(伊東委員長、木戸屋副委員長、廣瀬、ダニエル、堀田、高田、永田、榮)

新しいひとの流れをつくる

◎理事者の説明

令和4年度は、移住者の住まいの確保を最優先としたい。

併せて就職の支援や移住支援の充実、移住希望者への情報提供も関係各課と連携し進める。

移住者は、売買物件ではなく、賃貸可能な住まいを希望することが多いが、本市は、賃貸可能な物件がない現状で移住につながりにくい。

今後、本年度に実施した空き家所有者へのアンケートを基に空き家情報バンクへの登録を推進する。

また、空き家の家財処分費用の助成制度を創設

し、空き家情報バンクへの登録件数の増加を図る。

さらに和泉地区空き家情報バンクへの支援や、空き家活用の住民意識を高める地区別ワークショップなどにも取り組む。

◎委員の意見

住まいの確保を最優先課題として取り組み、常に新鮮な情報を適切に発信していくことを求める。

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

◎委員の意見

現在実施している五つの放課後児童クラブに加え、令和4年度は、長期休業中に限り、村部においても児童保育が必要な児童を対象とした放課後児童クラブの実施に向けて調整しているとのことだが、具体的にどのようなに進めるのか。

◎理事者の説明

学校の空き教室等を活用し、まずは市内で1カ所実施したい。学校側に負担をかけないよう施設の一部改修や人員配置が必要である。

3月議会のテーマ

人口減少対策に関する

令和4年度予算の説明を求め、特に長期休業期間中の子どもの居場所と移住者のための住まいの確保について焦点を当てた議論を行う。

▼未来へつなぐまちづくり特別委員会

(川端委員長、白崎副委員長、林、松本、廣田、野村、梅林、畑中)

中部縦貫自動車道の全線開通に向けて

◎理事者の説明

大野油坂道路の全線開通に向けて、国県への全面的な協力と要望活動に取り組み。

◎委員の意見

大野油坂道路の大野・和泉間開通まであと1年となった。この開通を大きなビジネスチャンスと捉え、道の駅などへ訪れた観光客に市内を周遊していただけるよう、企業や住民とも連携し、市内観光エリアを磨き上げられたい。

国道158号境寺・計石バypassの進捗状況について

◎理事者の説明

令和3年10月に県が策定した「道路整備プログラム」では、令和12年までの計画期間内に境寺・計石バypassの完成を目指すとされている。

◎委員の意見

本市にとっては、あらゆる面で大変重要な道路なので、早期の供用開始を目指し福井市と連携して、引き続き積極的な要望活動を実施されたい。

委員会

視察レポート

▼産経環境常任委員会

令和3年11月24日、HROSSA!に設置された恐竜のトリックアートや和泉地域交流センターなどの所管調査を行いました。

恐竜のトリックアートは、ティラノサウルスとフクイサウルスの2枚が施設壁面に設置されており、来年度春には施設入

口に恐竜モニュメントも設置されます。今後は来訪者のSNSによる発信が期待できます。

また、道の駅九頭竜の指定管理者で福井和泉リゾート株式会社の巢守和義社長との意見交換では、中部縦貫自動車道大野油坂道路開通後、観光客に道の駅九頭竜へ立ち寄りてもらうには、国道158号に愛称を付けたら、158号からは紅葉をはじめ、さまざまな景色を楽しめることをPRしたりすることなどが重要との意見や、中部縦貫自動車道利用者の目に付く大きな看板を設置することもあるとの意見などが出ました。

編集後記

コロナの影響は、議会にも及んでいます。例年、議員が行政の先進地域を視察し、一般質問に役立てたり議員同士の議論の参考にしたりしています。残念ながら、コロナの影響で、委員会の県外視察研修に行くことができない状況が続いています。コロナ前の「議会だより」では、「委員会視察レポート」をいくつか掲載していましたが、本号では市内施設研修の記事だけになりました。

本日より、市民の皆さまに興味を持っていただけるような紙面になるよう、編集委員会では議論を重ねています。市民の皆さまからも、アイデアをいただければ幸いです。

(座長 木戸屋八代実)

議会だより編集委員会

委員 木戸屋八代実
白崎 貴之
野村 勝人
川端 義秀
高岡 和行

※次回は、4月下旬の発行を予定しています。